

平成19年度 IT 経営応援隊「経営者・CIO 育成研修会」企画書(記載例)

実施機関 整理番号	(実施機関略称一追番) 費用積算書と同一番号として下さい。 J U A S - 0 1		提出年月日	平成 1 9 年 6 月 1 日	
実施機関名	社団法人 ○○○○				
事業 No.	(事務局用欄)				
テーマ名	わが社の経営戦略および情報化戦略に基づいた RFP 作成				
事業の目的	経営戦略・情報化企画は作成できているものの、ベンダーへ出す RFP の作成方法がわからない中小企業の経営者・CIO が多い。経営戦略・情報化企画から次の一歩としての RFP 作成手順を支援する。				
他の IT 経営応援 隊事業との関連	関連なし 関連あり 平成 19 年度の地域 IT 経営応援隊事業で実施するプロジェクトとの連携を取る予定。				
このテーマを 取上げた理由	(必要性、重要性、緊急度の点から箇条書きで記載のこと) 過去、ITSSP 事業及び、IT 経営応援隊事業の「経営者研修会」を実施してきた結果、経営戦略および情報化企画の重要性に気付き、具体的な戦略的情報化投資をしようとする中小企業が出始めたが、パートナーをとなるベンダーをどのように選んでよいか分からず困っている企業が多い。中小企業内に「CIO 育成」する必要性が高いので、本研修を実施することとしたい。				
日程	平成 19 年 8 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日		開催日数	4 日	
コース区分	(1) 経営者研修会 ①経営者研修会 A (IT 経営体験コース) ②経営者研修会 B (経営改革実践コース) ③経営者研修会 C (標準外のテキストを使用した研修会・使用するテキストを添付のこと) (2) CIO 育成研修会 ①CIO 育成研修会 A (基本機能版使用) ②CIO 育成研修会 B (実践力強化版使用) ③CIO 研修会 C (標準外のテキストの使用した研修会・使用するテキストを添付のこと)				
事業の詳細	(事業フローや事業を実施する上での会合やその目的等出来るだけ詳しく事業全体が分かるよう記載のこと。必要に応じ添付資料を付けること) 第 1 日目 (8 月 4 日 土曜日) 終日: ビジネスシステム企画・概説、演習 第 2 日目 (8 月 11 日 土曜日) 終日: 経営戦略企画書及び情報化企画書作成、演習 第 3 日目 (9 月 8 日 土曜日) 終日: 提案評価、演習 第 4 日目 (9 月 22 日 土曜日) 終日: IT 調達にかかるマネジメント、成果発表会				
期待される 成果・効果	成果物……参加した各社の経営戦略企画書、情報化企画書を完成させること。 参加企業の 5 割以上が、作成した企画書をベースに IT 経営の実践を行うこと。 無形の効果……企業競争力の強化、○○地域中小企業の活性化、 ○○地域における IT 経営推進企業の輩出				
事業に携わる コーディネータ	コーディネータ氏名 (主講師に○印)	ITC/ITC 補 /ITC-I/その他の区分	コーディネータの住所地 (都道府県)	得意分野(経営系、IT 系、その他具体的に)	活動実績
	○大田一郎	I T C	神奈川県	経営系	H16: 研修会、H17: 研修会
	品川二郎	I T C	神奈川県	経営系	H17: 地域 IT 経営応援隊 PJT
	渋谷三郎	I T C	神奈川県	I T 系	H16-17: 研修会、個別コンサル
	総コーディネータ数		3 名		
参加予定者	(どのような中小企業経営者を何人位集めるのかを記載のこと) ○○地域 (企業団地) の中小企業 CIO および CIO 候補者 (主として製造業) 9 名以上 12 名以下				
参加者の 集め方と参加者の 質の担保方法	(やる気のある参加者を具体的にどのように集めるのかを含め記載のこと) ××信用金庫とタイアップして、××信用金庫の中小企業顧客を対象として常設している「情報化研究会」のメンバーの内、戦略的情報化投資を緊急課題とする CIO 及び CIO 候補者 10 名以上を信用金庫担当者 と ITC とで直接面接して選定する。				
連携機関 (地方自治体、金融機関等) 名及び 連携内容	連携機関: ××信用金庫、△△IT 経営応援隊事務局 連携内容: 集客は××信用金庫が責任を持って担当 (既に参加予定企業名簿を入手済み) 研修会の実施は NPO ○○○○が担当 (参加者の面接も××信用金庫と一緒に ITC が行い、確認する。 研修会終了後は××信用金庫と講師を担当した ITC とでフォロー。戦略的情報化投資は××信用金庫がフォロー。				